

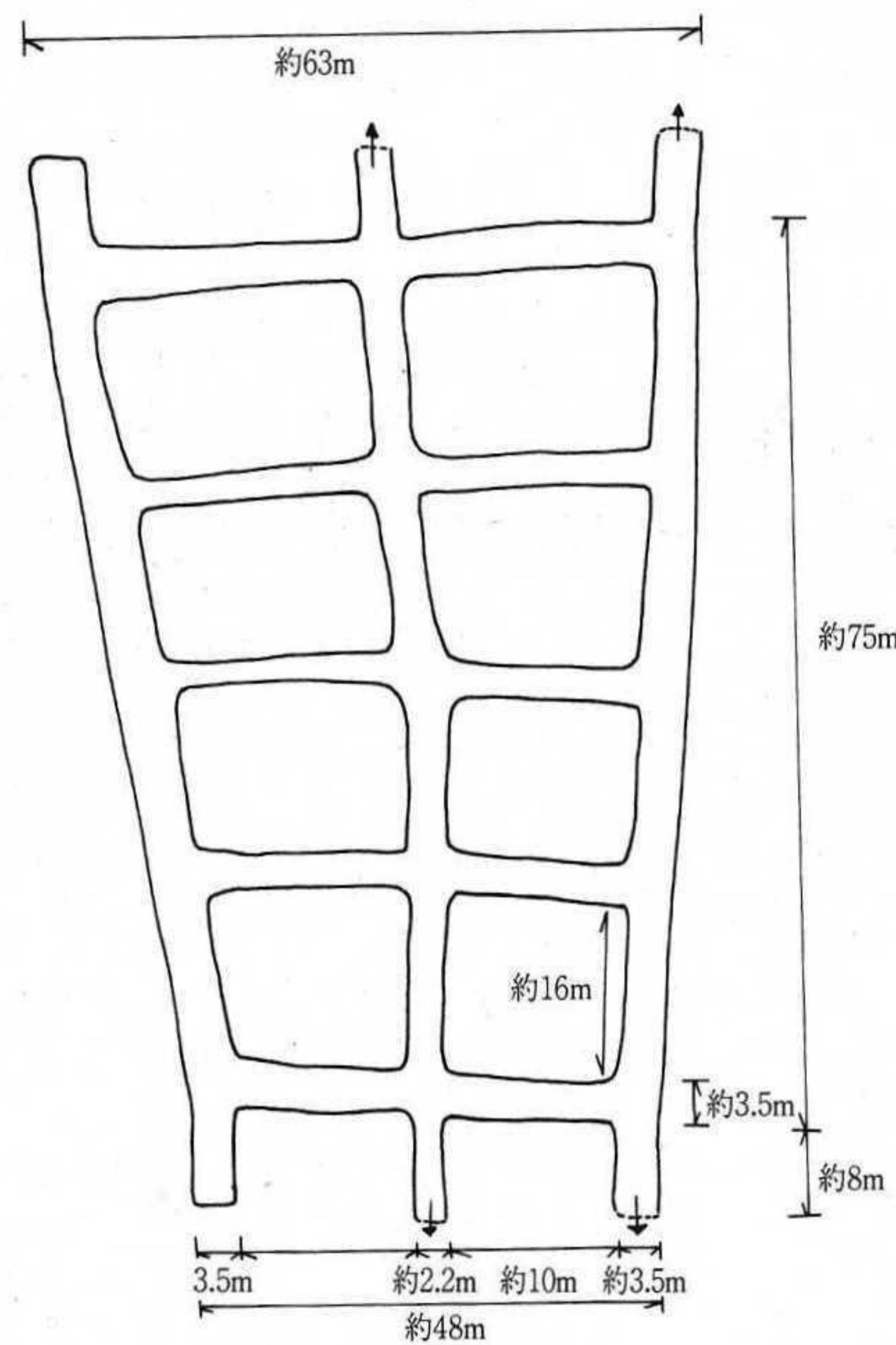


東京動力機械製造株式会社地下工場跡 (株)島崎酒造地下低温貯蔵庫



広い坑道の空間

- この洞窟は、第2次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された地下工場跡である。
- 昭和19年11月に東京動力機械製造(株)の疎開が決まり、山裾に半地下式工場が建造され、隣接してこの地下工場も造られた。半地下式工場では、終戦までに約20台の戦車が製造されたと言われている。しかし、この地下工場では戦車を製造することなく終戦を迎えている。
- 地下工場は、高さ幅とも3.5mの3本の坑道とそれを結ぶ5本の横坑で構成され、総延長は600mである。
- 地下工場跡地は酒蔵(さかぐら)として使用され、さらに地域のイベントなどにも活用されている。
- この施設は、風化しつつある戦争の記憶を無言で語り継ぐ貴重な平和の語り部であり、後世に伝えていくべき遺産である。また、地域文化の発信・文化交流施設として貴重な地域資源ともいえる。



地下工場跡坑道の平面図



烏山和紙の創作照明とコンサートのコラボレーション(平成19年)

『近代化遺産全国一斉公開2007』のご案内

■ 企画概要
古酒の試飲とコンサートinどうくつ酒蔵
 ・とき: 10月21日(日) (13時~15時)
 ・出演: フォークデュオ「さのっこ」
 ※入場は無料です。

■ 主催: 那須烏山市まちづくり研究会
 ■ 問い合わせ: 経済環境部商工観光課商工係
 電話 0287-83-1115

「近代化遺産全国一斉公開2007」のイベント



地下工場跡入口と近代化遺産解説板



「近代化遺産全国一斉公開」におけるパネル展示風景